

生徒自治会 通史

1998年度～2018年度（『第一世紀』に収録されていない部分、ただし未調査の1997年度と筆者卒業後の2019年度以降を除く）の生徒自治会について年度別に記載する。なお、事象の羅列が多数を占めるという内容の特性により、一部を箇条書きで記載する。

1998年度

主担：仲谷（社会） ～1999年度

前期

- ・前期執行部に対して、石鹼の設置、牛乳パックの学校回収、授業中に下にカッターシャツを着ていない時の上着着脱の自由化を求める提案があった。
- ・厚生委員会が制服・騒音についてのアンケートを実施し、冬の制服の体温調整がしにくいことがあるかという質問に半数弱、夏の制服の校章がつけにくいかという質問に78%が「はい」と答えた。
- ・原価の上昇により缶ジュースを110円から120円に値上げしたいと食堂から申請があり、議会はこれに反対した。その後どうなったかは不明である。
- ・庶務委員の手違いにより、この年の岸高祭のポスターに「51st」ではなく「51th」と表記されている部分があった。
- ・教師からアトラクションコンサート（岸高祭の前日に行われていた自治会主催コンサート）は準備の支障になるとの意見があった。

後期

- ・絵ハガキ募金による障害者団体への寄付を行った。
- ・以下の項目からなる大規模アンケートを実施。

<p>Q.来年度から予定されている本館校舎の建て替え（その後2000年8月に延期された）を控え、岸高祭、とくに芸能祭をどこで実施するか。</p> <p>A.芸能祭については市民会館44.3%、体育館32.0%となり、屋外や教室の希望は少数にとどまった。また、食品バザーについては、仮設校舎（廊下が狭く運搬が大変）35.1%、新校舎（仮設校舎内の調理室から100m以上離れている）30.5%、屋外（衛生上危険）26.3%となった。物品バザーについては屋内を希望する人が多かった。</p>
<p>Q.岸高祭前日に実施されていたアトラクションコンサートについて、クラス企画の準備に支障が出ているか、開催する日程を変えるべきか、オールスタンディング・バンドの掛け持ち・クラッカーの使用を許可するべきか。</p> <p>A.準備中に抜け出す人を気にしている人は28.1%にとどまった。建て替え時の代替開催場所は視聴覚教室が48.8%とトップ。オールスタンディング・バンドの掛け持ち・クラッカーの使用についてはいずれも「認めてほしい」が約4割、「特に必要なし」が約5割だったが、この結果には不参加者によるものが含まれているため、参加者限定で再調査する必要があるとした。</p>
<p>Q.だんじり（当時は岸和田浜手では9月14・15日。14日は通常授業、15日は敬老の日で休み。山手では10月）の開催日に学校を休んだことがあるか、授業を他の日に振り替えて休日にすべきか。</p> <p>A.6～7割が「休校にすべき」と答えたものの、授業時間が変化しないことなどを強調したうえで再度アンケートを行った結果、振替授業を希望しないとした人が若干多く、自治会としては、振替授業は切には希望せず、行うとするならばアンケートで希望が多かった9月第2土曜日を希望するとした。</p>
<p>Q.制服に不満があるか、夏服の下に色付きTシャツを着用することを許可すべきか、冬服着用時のセーター着用の自由度を上げるべきか（当時、セーターは上に学生服を着用したうえで着用可）、夏服のスカートの記事を改良してほしいか。</p> <p>A.制服には42.4%の人が不満を持っており、そのうちの64.2%が制服の形を変更してほしいと回答。色Tシャツの着用については「着用したい」と答えた人が19.2%と少なく、見送りとなった。一方セーターの着用については43.9%が着用したいと回答、スカートも一定数が改良を求めているため引き続き検討することとなった。</p>

その後、だんじりについては、1999年度より岸高祭の代休を振り替えることによって休日となった。

1999年度

ほとんどの回の生徒議会議事録が残っている最後の年。この頃は生徒議会が機能していたようだ。

前期

- ・4月をもって会計監査基準を改正。
- ・運動委員会は3年生のクラスマッチを7月にも行い、2回にする方針を出したが、職員会議で差し戻しとなり見送りになった。
- ・執行部がアルミ缶回収を実施。当初はあまり回収量が多くなかったため、6月末に再度活動を告知した。
- ・セタコンサートをスタンディング・クラッカー禁止で7月19日13：50より、アトコンをスタンディングを一部許可して9月24日14：00より実施。

文化祭

- ・物品バザーの取り扱いがバザー委員会から展示委員会に移行し、部門も「芸能祭」「展示」「食品バザー」「視聴覚」となった。
- ・校舎建て替えの影響で中止していた垂れ幕を復活。旧館南側面の屋上を利用した。
- ・展示部門ではクラスとクラブの場所を分離する方針だったが、断念した。
- ・時間延長は午後7時まで可能だった。
- ・各委員会の活動を、岸高祭直前号として総務委員会で発行。
- ・プログラムは業者に印刷を依頼した。
- ・討公は講座不足で見送りに。
- ・あいさつ回りのほか、小中学校への巡回を行った。
- ・アンケートでは、バザー予備室は廃止すべき、パフォーマンス（おそらく体育祭のもので、当時は「100周年記念競技」だったと思われる）が4分は短すぎる、バザーの管轄で混乱したという意見が寄せられた。
- ・芸能祭について、次年度から本館が取り壊されることを受け、「講堂がなくなっても芸能祭はなんらかの形で残していくべきだ」と芸能祭委員会は結論づけた。
「三年は劇」という不文律があるが、それに値する価値はあるという意見もあった。

セーター・祭礼振替授業に関するアンケート

(1)校内でのセーター姿での行動を認めてほしい。

a)ハイ：792票

b)イイエ：257票

(2)今年は9月14日が休みになったのでその代わりに文化祭後の代休が1日減りました。(昨年は文化祭後の休みが2日間でした。) 代わりの授業をするならいつがいいですか？

a)今年と同じ文化祭後の代休を1日にする。：347票

b)9月の第2土曜に振りかえる。：300票

c)14日は休みじゃなくてもよい。：423票、ただし3年生は193票で学年の過半数

この結果を受け、セーターの着用について生活指導部と話し合い、もっとより強く、たくさんの意見が必要との意見を受け、執行部+各クラス代表1名+有志による討論会を実施。

その後、各クラスでの討論を行い、次年度へ活動を引き継ぐこととなった。

文化祭後

- ・みんなのボール（自治会による共用のバレーボール）を2つ配備した。自治会新聞によると人気があったようだ。
- ・自治会お願いBOXを設置し、自治会新聞で回答。
- ・ラグビー部ができた。とある。
- ・絵ハガキ募金を実施。
- ・トイレに石けんを設置、管理は保健委員。
- ・会計監査を公募。
- ・クリスマスコンサート（12/24）を実施。

2000年度

主担：鈴木（理科） 2000～2002年

この年の自治会新聞は「執行部」と「四役」、「自治会執行部四役」を器用に使い分けている。

前期

補充人員（議会を傍聴できるが、詳細は不明）を1学期末に募集し、1名が参加。改装や上層階工事時に発生するホコリなどにより食堂を使用できない期間が冬の間にあるため、その代替策を問うアンケートを実施した。

文化祭

- ・ 出展募集の期間がクラス・クラブ・有志団体で同時となった。
- ・ プログラムが校内制作になり費用が減少。
- ・ 8月より校舎工事を行うため、会場は仮設校舎の他に岸和田市民会館を使用。
- ・ 芸能祭は市民会館を使用するため、舞台見学会・照明サンプルショーを実施。
- ・ 物品バザーでの買ってきた飲食物の販売は禁止（前年度までは不明）。
- ・ 2年ぶりに討公が実施された。
- ・ アトラクションコンサートは行わなかった。
- ・ 小中学校への案内は中止。

後期

- ・ 例年通りハガキ募金を行ったほか、インド募金54235円、アルミ缶回収（泉北養護学校の生徒が手でつぶして力を鍛えるのに使用）を実施。
- ・ 自治会オネガイBOXを設置。
- ・ クリスマスコンサートは行われなかった。市民会館で開催されることが記載された小冊子が現存するものの、集会委員会の後期総括には「講堂解体のため、クリスマスコンサートを中止」というまいち説明になっていない記述しかなく、詳細は不明である。直前で中止になったのだろうか。
- ・ 1月10日に旅と鉄道同好会の設立申請があった。顛末は不明。

制服について

当初のルール：3年生は紺、黒、グレー、1・2年生は紺のセーター・ベストを制服の下にのみ着用可。

11月時点のルール：色は全学年「制服系の色」（紺のほか、黒・白も一応可）に変更。

後期自治会では「紺・黒・茶・白・グレー（のちに茶色は除外）に限り、セーター及びベストの着用を認める」「来年度入学者からは指定のセーター・ベストを作成し、今の女子の指定のベストをなくす」ことを目標に活動を開始。

その後、1月11日の職員会議で、1月16日から3学期中をセーター試用期間とし、校内での白・紺・グレー・黒のセーター・ベスト（ハイネック不可、下に着用するブラウスの襟が見えるもの）姿での行動が認められた。

しかし、2003年度の自治会便り後期No.2によると、この時（2001年度後期の可能性もあるが）は制服を着ないで登下校したり、カッターシャツを着ないでセーターを着用するなどマナーを守らない生徒がいたようだ。

2月のアンケートでは、「次シーズンも試行期間と同じ条件で行動することを希望しますか。」という設問には「希望する」という意見が多く、指定のセーターについては、賛成182票、反対408票で反対が多かった。

2001年度

ピアノデュオ同好会が設立された。さらに1月15日の生徒議会ではクラブ化するかどうか議題となっている。

岸高祭

- ・岸高祭運営委員会の中の小委員会である「展示委員会」「食品バザー委員会」から金券委員会（金券の作成や、金券関連の会計処理を行う）が独立。
- ・展示バザーの部屋割りの担当が準備委員会から展示委員会に移動。
- ・代議員会計委員会が岸高祭に関係。
- ・アトラクションコンサートは場所の関係で実施しなかった。
- ・芸能祭の練習場所としてセミナーハウスも利用。リハーサルが「照明音響合わせ」に変更されたが、翌年には元に戻された。

後期

- ・来年3月をもって閉館する岸和田市民会館の代替場所についてアンケートをとり、市民会館の代わりに開館する浪切ホールでの開催を希望したものの、職員会議により岸高祭の校内開催が決定。
- ・上記の決定により芸能祭が体育館で行われることを受け、執行部では体育館に仮設舞台を設置したうえで芸能祭を行う方針とし、生徒の賛意を確かめるため再度アンケートを実施、約80%の賛成があった。
- ・アフリカにあるベナンの学校へ文房具を寄付。
- ・「活動の実態に合わせるため」としてフォークソング研究部が軽音楽部に改称。

制服について

この時点の校則

冬、セーターは学生服の中にのみ着用可（昨年度の試用期間の前と同じ）

男子について、学生服の中にトレーナーを着用するのは不可。

5月・10月に合服としてブラウスの上に指定ベストを着られる。

7月にアンケートを実施。

Q.今現在の女子の指定ベストは必要か

A.「必要でない」が圧倒的多数、「体温調整ができない」という意見が多かった。

Q.今年度のセーターについて、セーター姿での校内での行動を認めてほしいか、例年通り防寒着として背広の下に着用したいか

A.「セーター姿での校内での行動を認めてほしい」が約80%

Q.来年度以降のセーターについて（③はさらに分岐があるが省略）

①昨年度の試用期間中のように、セーター姿での校内での行動を認めてほしい

②例年通り防寒着として背広の下に着用したい

③指定のセーターを作って校外・校内での着用を認めてほしい

④その他

A.全857票中、①431票(50%)、②139票(16%)、③267票(31%)、④20票(2%)で、①が過半数

これをもとに、執行部は昨年度同様、セーター姿での校内での行動を認めてもらう方針を決定、制服をきちんと着ることを啓発した。

その後、2学期にもアンケートを実施。

セーター自由化:453票(49%)、指定セーター:306票(33%)、今の校則でいい:168票(18%)となったが、この後の顛末は不明。

2002年度

前期

- ・自治会BOXを設置、アルミ缶回収を実施。
- ・ペットボトルの自動販売機の設置が食堂から申請されるも、見送りに。

岸高祭

- ・9月上旬の開催となった。また、この後たびたび議論されることになる「岸高祭6月移転案」が修学旅行との兼ね合いとして初めて話題に上がった。
- ・金券は10円×10枚綴りまたは50円×6枚綴りを黎明館1Fで販売。
- ・芸能祭は体育館に業者に委託して仮設舞台を設置。設営にクラス（1-2）も関わり、好評だった。入口を1F、出口を3Fの一方通行。
- ・屋台形式の非調理バザーが行われるようになった。
- ・討公は時間と場所の都合（体育館は仮設舞台があり実施できない）により実施しなかった。
- ・開会式が風船とクラッカーから花火に変更。
- ・庶務委員会による岸高祭ポスターは制作されなかった。
- ・工事の関係により体育祭の城周駅伝が中止に。
- ・PTAから体育祭の暑さ対策に氷水を準備したいと申し出があり、テント・ウォータータンクのレンタルを行う。

岸高祭後

- ・後期会長の自己紹介には「ベルマークについて努力したい」とあるが詳細は不明。
- ・食堂についてのアンケートを行った。総括には食堂のメニューの見直しが行われており、来年度に引継ぎとなった。
- ・校舎建て替えにより講堂が使えない上に岸和田市民会館が閉館したため、この年のみ合唱コンクールが浪切ホールの大ホールで行われた。

2003年度

主担：糸井（国語） 2003～05年

前期

- ・アルミ缶回収実施の方針を掲げるも、総括には記述なし。
- ・厚生委員会はトイレの石けん・トイレットペーパーについての啓発を実施。
- ・6月、執行部が2年6組の生徒に物理科・生物科の授業についてアンケートを実施しているが、詳細は不明。
- ・自治会への意見書き込み掲示板があった。

文化祭

- ・調理室で前日から卵を保管できるようにしようとしたが、保健所からの指導により食品バザーの本格調理（フライパンでの加熱など）や卵が禁止となり、加工品の電子レンジ加熱のみになった。
- ・執行部で垂れ幕、横断幕を作成した。評判も良かったようである。
- ・金券は10円×10枚綴りまたは50円×6枚綴りを自治会室で販売。場所が分かりにくいとの意見あり。
- ・岸高祭実行委員会の基本方針によると、前年度は中止となっていた文化祭でのポスター募集を復活したと思われる。実際に作成されたかは不明。
- ・討公が復活した。2006年度まで継続することとなる。
- ・中庭イベントをチャリティーイベントとして復活。
- ・避暑のため、体育祭を6月にするべきとの意見が多くみられた。
- ・PTA予算24万円でテントをレンタル。
- ・体育祭時にPTAが独断でお茶の提供を実施。生徒からは好評、教師からは問題視する声も。

文化祭後

9月25日の職員会議をもって、将棋同好会が部に昇格した。また、硬式テニス同好会・邦楽同好会設立の問い合わせもあった。

合唱コンクール

合唱コンクールが校内で1・2年生別々で45分×6限終了後に行う形式に戻り、さらに有志合唱が廃止されることとなった。これに対して執行部は反発、後者に対しては1・2年から317名の署名を集め、翌年度には復活した。

なお、合唱コンクール直前にインフルエンザが流行したため、2年生の開催日を1週間後（1年生と同じ）にし、40分×6限の後に、2年生と1年生を途中で入れ替える形で行うこととなった。

クラスマッチ

クラスマッチは一昨年まで全学年合わせて5回行っていたが、授業時間確保や講習・保育実習・地学実習などとの兼ね合いにより計2回しか実施できないこととなった。そのため教師陣は「2

年生は修学旅行で4,5日楽しい時を過ごしている」という理由で2年生のクラスマッチを廃止した。

執行部は復活を検討したが、上記の経緯を説明され、復活を断念した。

制服について

夏休み前に女子生徒にアンケートを取った。

Q1.今の制服について不満はありますか…？

Q2.リボンやネクタイをつけたいですか？

Q3.セーター・カーディガンの着用を認めてほしいですか？

結果、Q1とQ3で「はい」が過半数に達したため、セーター・カーディガンの着用に向けて活動を行うこととなった。理由として、「ブレザーだと動きにくい」「温度調節がしにくい」などが挙げられた。なおQ2は「はい」の方が多かったものの、割合が低かったため、保留となった。

その後、9月にはミニ討・公（制服についての意見交換会）を行い、その後はミニ討・公で出た質問を生徒指導部に尋ねるといった活動をした。

2004年度

当年度後期の執行部の総括（活動のまとめ）には「最近は、自治会執行部4役のみの活動となっているところがある」と書かれており、活動が自治会執行委員会ではなく4役中心となっていることが伺える。

また自治会指導部の会議で、「代議員は投票で決めることになっているが、実際は投票で決めている等、現状と生徒手帳の内容が一致していない。」という意見があがっており、この時点で生徒手帳に記載されている自治会会則と現状が一致していなかったことがわかる。

前期

- ・6月ごろに食堂アンケートを実施。
- ・夏休みに執行部全員で岸和田の障害者施設を訪問し、障害児と一緒に遊ぶといったボランティア活動を行った。
- ・目安箱の設置などを行ったが、あまり意見が来なかったそう。
- ・運動委員会は基本方針で2年生のクラスマッチの復活を掲げたが、総括には記載がない。

文化祭

- ・金券は100円券（10円×10枚綴り）と300円券（50円×6枚綴り）を500円分のセットにして販売。
- ・バザー部門クラスに2日も営業するように勧めた結果、ほとんどのクラスが黒字に。
- ・食品バザー部門で非調理クラス（食品の加工を禁止）を復活。
- ・3年生（2階）と1年生（4階）の文化祭時の入れ替えを検討したが、掃除、片付けができないという理由により入れ替えを行わず、2階を3年生のみ使用可能とした。
- ・芸能祭のドア係動員をやめ、先生が行うようになった。

- ・ 執行部は8m×8mの垂れ幕を制作。
- ・ テントをレンタル。
- ・ 自治会予算で冷茶、冷水のウォータークーラーを設置。
- ・ 体育祭が日曜日となったため、一般客の入場を禁止。
- ・ 体育祭で、門が1つになった（これまでは入場門・退場門の2つ）
- ・ 岸高祭後の授業日（9/13）の朝に清掃の時間を設定。
- ・ スウェーデンリレーの各学年3レースは時間がかかりすぎるという意見があった。
- ・ 棒倒しは危険という意見があった。翌年度は大玉遊びに置き換えられている。
- ・ 体育祭を6月に変更することについて教員アンケートで意見を募った結果、賛成意見もあったが、分離するとかえって勉強に集中できなくなるという意見もあった。

文化祭後

- ・ 新潟中越地震を受け、募金を実施。
- ・ 制服アンケートを計画していたが、廃案となった。
- ・ 合唱コンクールに指揮者賞が新設された。

2005年度

文化祭

- ・ 統一テーマが全校投票の結果一旦は「母さん、今年の岸高祭すごいらしいよ！」に決定するも、テーマの対象を母親に限定していることなどが問題視され、臨時生徒議会で議論した結果、2位の「僕たちの色 一人一人 描き出そう 岸高彩」を繰り上げ採用することとなった。
- ・ 受付係が新設された。
- ・ フォークダンスに花火が使用された。
- ・ SFC（旗コンクール、自クラスの企画を垂れ幕に描く）が開始された。

後期

- ・ 目安箱をわかりやすい場所に配置。
- ・ 食堂メニューの満足度調査やコロッケやポテトなどのサイドメニューを増やす検討を実施。
- ・ パキスタン地震への募金を実施。
- ・ 合唱コンクールの賞の名称が金銀銅になり（少なくとも1999年度以降は最優秀、優秀、敢闘だった）、ピアノ奏者賞が追加された。2008年度も同じ形式で続いている。
- ・ 硬式テニス同好会の設立申請があった。

2006年度

主担：三好（国語） 2006・07年

文化祭の職員アンケートで、代議員の文化委員とHRの文化委員のネーミングについて、二重構造ではないかとの指摘があった。これに対して自治会指導部はネーミングをわかりやすくする必要があるかもしれないと回答している。

岸高祭

- ・ 体育祭が6月開催に変更され、おおむね好評だった。
- ・ 学力向上などのため、来年度から文化祭を6月に開催することが決定。教職員の間ではかなりの賛否両論であった。

（自治会活動の主体である生徒の意見が完全に無視されている、クラスづくりができてから準備ができる方が良い、文化祭を通じてクラス作りをすればよい、夏休みからは受験体制に入るべき、ひたすら生徒を勉強に追い込むことで成果があるとは思えない、（1学期開催だと）大変になりそうだが適切なアドバイスをすれば岸高生はしっかりやる、夏休みを勉強する期間にすることが大切、など）

- ・ 討公が2007年1月11日の大綱案で廃止された。一方、岸高祭運営委員会についても廃止の声があったが、これは存続された。

後期

- ・ 教室内での上着無しのカーディガン・セーター（黒・紺）の着用を要望し、「今ある校則を守り、きちんと制服を着る」ことの呼びかけを行った。その結果、2・3月を試用期間として認められた。
- ・ 韓国のラクセン高校が岸高を訪問するのにあたって、自治会が挨拶を行った。

2007年度

- ・生徒の意見を聞くための「目安箱」が「岸高生の主張」となった。
- ・学級委員名簿が電子化された。

文化祭

- ・「セーブ・ザ・チルドレン・文化祭キャンペーン2007」に参加し、準グランプリとなった。
- ・統一テーマは「世界中に愛を届けよう」という思いから（岸高祭ではユニセフ募金活動が行われていた）「ありったけの愛」という言葉を入れて募集し、投票の結果「ありったけの愛scream」に決まった。

しかし、screamという単語（「＜痛み・恐怖・興奮などで＞甲高い声で叫ぶ」など）の意味がテーマの趣旨にふさわしくないという指摘があり、6月7日にテーマ変更のお知らせがされた。その後再審議の結果、「♥ ありったけの愛をありったけ ♥」に決定した。

- ・クラスアピール（各クラスが企画を自ら壇上で宣伝する）がスタート。
- ・現在と異なり、3年生はSFCへは自由参加だった。
- ・庶務委員会は芸能祭をビデオで記録。
- ・66860円でデジカメを購入。
- ・現在と異なり、打ち上げが禁止されていた。翌年度以降は不明。
- ・偽の金券が発見されたり（翌年度からデザイン変更）、芸能祭で痴漢事件が発生したり（翌年は整理券制に、翌々年から女性専用コーナー導入のうえで自由入場に戻る）、なぜかかなり波乱に満ちた年であった。

文化祭後

- ・「皆さんが暮らしやすい岸高」を目指してアンケートを取り、セーター・カーディガン類の着用について、生徒の要望の実現のために、生徒のマナーの啓発に取り組んだ。
- ・少林寺拳法同好会の設立申請が2007/7/25にあり、認められた。
- ・財政状況の悪化により自治会費（当時1年につき1700円）の値上げが検討されたが、クラブ後援会費として年800円集めていること、大阪府の基準により生徒会・部活動後援会費は合計で年2500円までしか徴収できないことにより廃案に。
- ・厚生委員会の取り組みにより食堂のパン・サンドイッチの種類が増加。

2008年度

主担：近藤（数学）2008年度～

前期

- ・前期会計に2人が立候補したため、落選した1人を文書係に任命して対応。
- ・自治会役員を代議員から選出しその代議員の代わりを選出したとき、文化祭が6月になったため代わりの代議員にとってはつらいという理由により、会則第17条を改正し代議員と自治会役員の兼任を可能にすることで、代わりの代議員を選出しなくてもよいこととした。
- ・文化祭の動画作成のため、パソコン（2018年現在使用されている）1台を購入。

文化祭

- ・芸能祭は原則3年、調理は原則2年のみが行うことになった。
- ・食品バザーの非調理部門が展示部門に吸収された。
- ・視聴覚室を使わない展示（映像等）部門が追加された。
- ・文化祭に「校長推薦枠」を導入。
- ・前年度の痴漢事件を受け、芸能祭がブラスバンド部を除き整理券制（開演の20分前に券を配布）になり、保護者優先席が設置された。
- ・文化祭前の4限授業（午後は文化祭の準備を行う）が前年の8日から5日に減少。
- ・SFCはこの年は生徒の投票は禁止。活動報告の提出がまだあった。

文化祭後

- ・執行部は、冷房の起動時間などについて取り組んだ。
- ・指導部では翌年に向けての文化祭マニュアルが作成された。
- ・カーディガン問題について取り組むが、今年度中には解決せず、翌年に持ち越しとなった。
- ・12月1日に少林寺拳法同好会が部への昇格を申請し、翌年1月7日付での昇格を認められた。
- ・クラスマッチが、1年生12月開催・3年生7月開催の形から、1・2年生12月開催の形に改められることが決定（再来年度から、来年度は経過措置）。

2009年度

主顧問：不明

この年に分掌（学内の仕事を分担する組織で、教員が所属している。前年までは7つあった。）が再編され、自治会指導部と生徒指導部、保健体育部が合併して「学校生活部」となった。

文化祭（新型インフルエンザの影響で1週間開催延期）

- ・文化祭前の4限授業が3日に減らされる予定だったが、食品バザーや芸能祭担当の教員の反対により取り消された。
- ・巡視係・ゴミ処理責任者などが各学級委員に委嘱されるようになった。
- ・「展示」部門の名称が「制作・イベント・展示」となった。
- ・SFCの発表と1・2年生の宣伝パフォーマンスが木曜日となった。
- ・SFCが全クラス強制参加となった。2010年度も同様、その後現在まで継続していると思われる。
- ・芸能祭に関して、前年の整理券制度を廃止し、代替として女性専用コーナーの設置、定員制（保護者優先席116+座席324+立ち見150）、途中入退場禁止、ゆうかりホールでのライブ放映などの施策を実施した。
- ・チャリティイベントあり。

文化祭後

前年度後期の執行部を中心にカーディガン問題に引き続き取り組み、カーディガンについての歴史をまとめる、代議員や生徒に意見を調査するなどした結果、7/24に学校内で黒・紺のカーディガンを着用することが認められた。（10/1までは試用期間、10/2から正式実施）

その後、食堂に関するアンケートとマナーに関するアンケートを取った。

2010年度

主顧問：不明

この年度から2013年度にかけては自治会にほとんど資料がないため、記述できる内容がとても少なくなる。

- ・生徒もSFCの投票ができるようになった（2008年度は外来客のみ、2009年度は不明）。
- ・現在は行われていないクラスアピールの投票があった。
- ・1・2年生のクラスアピールの時間が2分まで（2018年度は1分）。
- ・芸能祭の演技講習会が開始。
- ・後期では昨年までのカーディガン活動の歴史とカーディガン登下校の禁止を周知。

2011年度

主顧問：徳野（社会）？ 交代した時期は不明。

- ・自治会室が2F生徒相談室の横から3F西選択教室の向かいに移転。跡地を隣の社会科教室と合わせ「多目的教室」とした。
- ・鉄道研究同好会と数学探究同好会が設立された。
- ・芸能祭について、2回あったリハーサル練習のうち1回を3年生の他クラスが観覧できる『プレ公演』に振り替えた。アンケートで好評だったため、次年度以降も継続している。
- ・文化祭に関してマスコットとあるが、詳細は不明。
- ・9月12日に、自治会アンケートを実施し、学習関係やクラブ関係、体育祭などの要望を収集した。

2012年度

主顧問：徳野（社会）

文化祭

- ・芸能祭は原則3年のみ、調理バザーは内容やコンセプトの審査で決定（同レベルの場合2年生優先）。なお、芸能祭への参加は2006年度の1-6を最後に3年生のみとなっていた。
- ・芸能祭の講習に関して従来の音響・照明・装置講習会に加え、照明講習会（照明係に機器を操作してもらう）が追加。

その他

- ・鉄道研究同好会が8月27日に部への昇格を申請した。

2013年度

主顧問：徳野（社会）

- ・SFCの大賞がなくなり、学年ごとの順位のみを決めることになった。
- ・開会イベントあり（15：00～、2団体）
- ・合唱コンクールは2012年度に加え、1年生のクラスに校長先生特別賞が授与された。前後の年度の特別賞制度の有無は不明。
- ・カーディガンでの登下校が話題に上がり、今までの活動の歴史をまとめた書類が作成され（ただし一部誤りがある）、生活指導係と執行部の話し合いが始まった。

2014年度

- ・目安箱を設置。
- ・食品バザーの参加が2年生のみになった。
- ・教室にプロジェクターとスクリーンが設置されたため、文化祭の映像作品の上映場所が視聴覚教室ではなく自教室となった。これにより、視聴覚教室を利用する団体は軽音楽部と有志団体のみとなった。
- ・体育祭について、各団の団旗を製作。
- ・自治会新聞には「綱引きのルールが厳しくなった」とあるが、詳細は不明。
- ・体育祭後のフォークダンスの前に練習時間を設定した。

指定カーディガンについて

2014年5月時点での規則：黒か紺色の物を、校内でのみ上着無しで着用可。

2013年10月の資料（顧問同士のための資料？）でカーディガン着用についての歴史がまとめられ、2014年3月の自治会新聞でカーディガンでの登下校について話し合いをしたとある。

その後、5月の学校生活部会資料にも取り上げられた。

後期執行部は指定カーディガンの導入を目指すようになった。しかし、岸高の制服の歴史についてプリントを配布し、1・2年生へ以下のアンケート（自由記述は省略）を取ったところ、僅差で反対多数だったため見送りとなった。

Q1.制服は意味があると思いますか？

A1.「意味がある」が75%

Q2.服装・カーディガンについての現行ルールをどう思いますか？

A2.「変えてほしい」が56%

Q3.指定カーディガンは賛成ですか？

A3.「反対」が56%

2015年度

文化祭

- ・文化祭の正門アーチが執行部と美術部の合同で製作された。その他の年度は、基本的に執行部単独の製作である（詳細は「岸高祭」ページを参照）。
- ・SFCオープンと1・2年生クラスアピール（昨年まで木曜日に実施）が金曜日の開会式に統合された。
- ・閉会イベントの参加団体を1団体とした。
- ・ゆうかりホールでの芸能祭の上映を廃止。

文化祭後

- ・リビング同好会がクラブへ昇格（10月26日のクラブ代表者会議で議題に上がり、この年度中に承認されたと思われる）。
- ・環境保護・校内美化の一環として古紙回収活動がスタート。2015年度末と2016年度で3840kg（回収業者の明細より算出、自治会新聞の3490kgは誤り）の古紙を回収し、30660円を得た。
- ・自治会委員会や学級委員の再編と、それに伴い自治会会則の一部修正が行われた。
- ・カーディガンでの登下校について、制服の在り方について議論したものの「まずは現行のルールを守ってもらわなければならない」（執行部コメント）として来年に持ち越された。

2016年度

主担：藤原（国語）　??～2017年度

今年度より、学校生活部が生活指導部と自治会部に再分離され、分掌の数は5つとなった。

前期

- ・文化祭・体育祭の改善や、名簿の男女混合化、心の性別に見合った制服づくりに取り組み、男女混合名簿については生徒アンケートでの賛成多数を得て、翌年度からの使用が決定した。
- ・体育祭については応援パフォーマンスの人数増加（2014年度は1団60人、2016年度は1団70人）や、障害物競走への借り物・飴食いの追加、全団での写真撮影の開催など、意欲的な取り組みが行われた。PTA広報「ゆうかり」で体育祭実行委員長は、「『岸高の体育祭は他校と比べて面白くない』と言う岸高生はたくさんいます。それがとても嫌で今年の体育祭はたくさんチャレンジさせてもらいました」と述べており、体育祭への思いが窺える。ただし障害物競走については危険だという意見が多く、翌年度は従来の形式に戻った。
- ・Xサミット（文理学科設置10校の生徒会による意見交換会、年2回、夏と冬に開催）が天王寺高校の発案により開始された。

後期

- ・カーディガン登校の実現に取り組み、翌年4月25日からの指定カーディガンによる登校が実現した。
- ・前期から引き続きLGBTQの周知にも取り組み、制服の性差による問題について、意見交換会を実施した。
- ・あいさつ運動・マナー向上運動を庶務委員会と協力して行った。
- ・目安箱を設置した。

2017年度

※2017・18年度の活動については「生徒自治会回顧録」にも掲載しています。特に執行部の活動については私見も交えながら、資料に残っていない部分も含め詳しく記述していますので、ぜひご参照ください。

前期

- ・前年度から継続してあいさつ運動、古紙回収活動を行った。
- ・執行部の活動としては文化祭や体育祭の運営が中心で、特異なものは少なかった。
- ・文化祭の金券が50円券と10円券の混合販売から変更され、20円券のみとなった。
- ・古紙回収活動の収益金により、文化祭でのクラス補助金が1000円ずつ増額された。
- ・執行部員の発案で、九州北部豪雨災害募金を7月19日、20日の朝に実施。
- ・当年度より体育祭のスポーツドリンク（PTA予算より）が1人1本に減り、その代わりにメジャーブランドのものとなった。

後期

- ・来年度の文化祭への準備として、アンケートで出た意見の反映、パンフレットのレイアウト変更を行った。また、新入生向けの文化祭紹介動画が2014年度に作成された古いものであったため、内容を更新・改良した。
- ・会則を一部改正した。2015年改正で残存していた「会計委員」の一部を「庶務委員」に置換、第10条第2項の会計委員会委員長の規定を削除、別項クラブ設置規定に第6項を追加、その他一部の表現変更が行われている。
- ・目安箱の意見を踏まえ、視聴覚室北側の軒下に自転車用空気入れを設置した。
- ・目安箱に「食堂の値段を下げしてほしい」という意見があったため食堂インタビューを行い、「お弁当率が高いため値下げは厳しい」「3年生になって初めて来てくる子もいる」という返答を踏まえて食堂の利用方法を自治会新聞で特集した。
- ・Twitter（インターネットサービス的一种）による情報発信を検討し、学校の公認は得られなかったものの、学校非公式という形での発信は許可された。2018年5月10日より翌年度の執行部による情報発信が開始されたが、同年6月17日を最後に投稿が無く、短期間で終了した。

その他

- ・男女の人数のクラス差が激しいとして、少なくとも1997年以降で初めて男女共同でのクラスマッチが行われた。競技はドッジボールで、前半は女子、後半は男子がプレイヤーとなった。
- ・クイズ研究同好会が設立された（2018/2/13設立希望届、2/28クラブ代表者会議）。
- ・この一年で2300kgの古紙を集め、18400円を得た。

2018年度

主担：八倉（体育） 2018年

執行部・委員会の活動

- ・自治会室にB4印刷が可能なプリンター「LP-S6160」を導入（購入は前年度末）。
- ・昨年度までは古紙回収活動を自治会四役のみで行っていたが、拘束時間が長いため四役にとって大きな負担となっていた。そこで今年度からは庶務委員会が古紙回収活動に加わることとなった。
- ・目安箱の意見より、視聴覚室北軒下の空気入れ（前年度に設置）の隣に、傘を忘れた人のための置き傘「善意の傘」を新設。
- ・後期では「ユニセフ世界寺子屋運動」に協力し、書き損じはがきや図書カード、切手などの寄付運動を実施。
- ・PTAと執行部の意見交換会が開かれた。

岸高祭

- ・SFCの設置場所が変更され、全学年中庭の北側となった。
- ・体育祭開会式前の行進を廃止。
- ・体育祭の一部競技の実施時に、応援パフォーマンスの団長らが考えた紹介文を放送。
- ・後夜祭のキャンプファイヤーを廃止し、様式を変更。

その他

- ・インフルエンザの影響を避けるため、合唱コンクールが11月開催となった。
- ・クラブ紹介冊子のクラブの掲載順が前年のくじ引きによる決定からクラブ番号順に変更（紹介順は不明）